

施策の方向 V-2 環境技術による国際貢献の推進

指標	目標・現状・指標がめざす方向
海外からの環境技術視察・研修の受入人数	【目標】現状より増やすこと 【現状】1,143人（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
環境に係る国際会議・イベント等実施状況	【現状】国際環境技術展2010の開催ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容	【現状】環境技術産学公民連携公募型共同研究数（累積） ：12件ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：海外からの環境技術視察・研修の受入人数 ・エコタウン施設における受入人数は617人で、震災等の影響もあり、前年度の1,205人に比べて588人の減少 ・エコタウンを除く受入人数は225人で、震災等の影響もあり、前年度に比べて39人の減少 （対前年度：627人減少、対基準年度：減少）	なし*	2
■指標：環境に係る国際会議・イベント等実施状況 国際環境技術展2012等を開催（対前年度、対基準年度：現状維持）	2	
■指標：環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容 炭素繊維による閉鎖性水域の水質浄化工法の研究等の事例について共同研究を実施（累計件数25件）（対前年度：7件増加、対基準年度：多い）	3*	

[方向評価は「*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]

現 状

■海外からの環境技術視察・研修の受入人数

- ・川崎エコタウン会館を中核施設として、エコタウン及びゼロ・エミッション工業団地への視察希望者の受入を実施
- ・国内からの来訪者を含めた総視察者数は1,513人
- ・中国、韓国、タイ、ベトナム、イギリス、オーストリア等18カ国から617人の海外視察受入
- ・エコタウンを除く受入人数は225人

■環境に係る国際会議・イベント等実施状況

- 川崎国際環境技術展2012の開催
- ・優れた環境技術等を有する136団体（226ブース）が出展
 - ・中国・韓国等の海外からの約184人の来場を含め2日間で合計13,500人が来場
 - ・優れた環境技術の海外への移転に向けた海外企業と出展者とのビジネスマッチングを実施
- アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催

■環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容

2011年度の共同研究実施件数は7件、実施内容としては次のとおりです。

- ◇炭素繊維による閉鎖性水域の水質浄化工法の研究
- ◇川崎市の地域特性を活かしたスマートシティモデル事業検討～エネルギー・環境性能の可視化技術～
- ◇光学レンズとLEDを用いた低光害高効率照明の研究
- ◇クラウドコンピューティングにおける環境情報サイクルの構築に向けた実証研究

- ◇振動発電技術による未利用エネルギーの活用及び「見える化」の効果的手法に関する研究
- ◇環境教育実践・施設・環境人材等の環境資源の有機的連携のための俯瞰的マップづくり
- ◇南河原こども文化センターにおける地中熱利用空調システムの実施研究

具体的施策事業の概要

施策の方向

施策の柱

V-2 環境技術による国際貢献の推進

V-2-1 環境技術研究・開発の推進及び環境技術情報の収集・発信

V-2-2 国際的な環境保全活動への支援・連携

V-2-3 環境技術の海外移転の促進

V-2-1 環境技術研究・開発の推進及び環境技術情報の収集・発信

V-2-1-1 環境技術研究・開発の推進及び環境技術情報の収集・発信

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
環境総合研究所の整備の推進 [環：環境技術情報センター] [環：企画指導課] [環：公害研究所]	施設の基本設計及び実施設計の完了及び建設工事の着工	環境総合研究所の開設・運営
都市と産業の共生を目指した共同研究（産学公民連携）の推進 [環：環境技術情報センター] [環：公害研究所]	事業者、大学、研究機関等と連携し、環境技術に関する共同研究事業を実施（実施件数7件）	継続実施
川崎の優れた環境技術情報の収集・発信 [経：国際経済推進室] [環：環境技術情報センター]	・川崎ゼロ・エミッション工業団地において小学生親子向けのエコ学習を開催し、ゼロ・エミッション工業団地での取組を市民に情報発信 ：5回 のべ194人参加 ・環境技術情報ポータルサイトによる情報発信	継続実施

V-2-2 国際的な環境保全活動への支援・連携

V-2-2-1 国際的な環境保全活動への支援・連携

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
環境問題の取組支援のための人材の派遣、研修生の受け入れ促進 [環：環境技術情報センター] [環：公害監視センター] [環：公害研究所] [経：国際経済推進室]	□受入数 ◇第14期瀋陽市環境技術研修生受入れ ・中国・瀋陽市から1人、31日間 ・環境行政研修、環境技術研修他 ・1997年度から研修生受入継続（のべ31人） ◇公害監視センター視察： 3か国から23人 ◇中国・上海市浦東新区への企業ミッション団・環境行政職員の派遣と上海市環境技術研修生の受け入れ（2人、15日間） ◇公害研究所、JICA 研修生10人視察	◇第15期瀋陽市環境技術研修生受入れ ・中国・瀋陽市から2人、29日間 ・環境行政研修、環境技術研修他 ◇中国・上海市浦東新区への企業ミッション団・環境行政職員の派遣と上海市環境技術研修生の受け入れ（3人、15日間）

V-2-3 環境技術の海外移転の促進

V-2-3-1 環境技術の海外移転の促進

具体的施策名	2011（平成 23）年度実績	2012（平成 24）年度計画等
国際関係 [上下：経営企画課]	◇オーストラリア・クィーンズランド州と環境技術、水資源管理等の経済交流協定締結 ◇ベトナム・ダナン市と下水道整備事業調査に関する協力協定締結 ◇海外からの研修生受入れ（9か国9人） ◇上下水道施設への視察者受入れ（14か国 109人）	◇上下水道分野における国際展開の実施方針策定 ◇水ビジネスを推進するプラットフォーム「かわさき水ビジネスネットワーク」の設立 ◇中国・瀋陽水務集団との友好協力協定締結 ◇ベトナム・ダナン市の下水道整備事業調査への協力 ◇海外への専門家派遣と海外からの研修生受入れ ◇上下水道施設への視察者受入れ
国連環境計画（UNEP）連携の協調 [環：地球環境推進室]	継続実施	継続実施
海外販路の開拓 [経：国際経済推進室]	【V-1-1-1 施策参照】	【V-1-1-1 施策参照】
国際環境産業の推進 [経：国際経済推進室]	【V-1-1-1 施策参照】	【V-1-1-1 施策参照】
アジア起業家の誘致と交流の促進 [経：国際経済推進室]	◇アジア起業家村構想拠点施設でのアジア起業家・企業の集積 ・新規入居企業1社、累計30社	◇アジア起業家村構想拠点施設でのアジア起業家・企業の集積

総合評価

施策の方向	指標	指標評価	方向評価	総合評価
V-1 環境関連産業の振興・育成	ゼロ・エミッション工業団地への視察者数	3	3	2
V-2 環境技術による国際貢献の推進	海外からの環境技術視察・研修の受入人数	なし	2	
	環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容	3		